

読み解く力の育成に向けて

1年 SS 基幹探究 探究基礎 I の取り組み

◇期日：令和5年4月24日～

◇場所：各教室・図書館・化学実験室・生物実験室



1 学年探究科学科生徒 81 人は 5 班に分かれ、SS 基幹探究「探究基礎 I」の活動を行った。この授業では、今後の探究活動の基礎となる「読み解く力」の育成のために、国語、地歴、数学、理科、英語の 5 教科の課題に 3 時間ずつ取り組んだ。自分が持っている知識や観察して気づいたことをもとに考える授業で、自然と生徒同士での意見共有が増えた。自分になかった知識や見方を発見するとともに、仮説を自力で証明する難しさや人に分かりやすく伝える重要性を学んだ。

国語では、芥川龍之介の「羅生門」の読解を行った。もとになった「今昔物語集」と比較をし、芥川の創作意図を考察した。数学では、自然数の n 乗の和の法則を考えた。少人数のグループに分かれ、自分たちで見つけた法則を仮説として、図や差に注目した式を用いて証明を試みた。地歴では、歴史上の人物を 1 人選び、その人物の人物史を作った。生い立ちや功績、名言などから、普段の授業ではわからない歴史上の人物の性格や信念を探った。理科では化学と物理の各分野で様々な現象について起きている科学的根拠を、様々な視点から考えた。英語では、素早く必要な情報を見つける「スキミング」と、素早く文章全体の大意を掴む「スキミング」という方法を学び、英文記事を用いて読解力の向上を図った。文章を読んだ後には、内容についての意見や感想を共有し、表現する力も養った。

各授業で培った「読み解く力」をこれからの探究活動に活かし、科学的思考力を高めていきたい。

